

# 第四回ガラス工作技術シンポジウムを開催して

技術センター 理学部等部門

佐藤 勇・南 治志・新谷 博志・藤原 雅志

## 1. はじめに

このシンポジウムは、国公立機関に勤務している理化学ガラス技術者が、ガラス技術の継承と発展及び、技術者同士の交流またそれらを通してお互いの知識を向上させることを目的に、1998年に第1回のシンポジウムが大阪大学産業科学研究所で開催されました。その後全国の国公立機関に所属する理化学ガラス技術者が中心になってCONNECT（全国国公立機関ガラス技術者の会）を設立し現在では、この会が中心になって会員が在籍する各大学が持ち回りで2年に1度開催されています。

## 2. 期間・場所

期間 平成18年10月19日、20日

場所 学生会館2階レセプションホール

## 3. 参加者等

国公立機関に勤務している理化学ガラス技術者28名 一般参加4名

## 4. 研修内容

特別講演：『カリフォルニア大学リバーサイド校における技術職員の状況など』

広島大学大学院理学研究科化学専攻

山本陽介教授

技術報告

技術発表は12件（内1件実演）でガラス工作



図．研修風景

における技術的なものから職場環境の改善など、幅広く発表され活発な討論がなされました。（詳細は第4回ガラス工作技術シンポジウム報告集にて公表）また技術実演では当ガラス加工室に来ていただき作業方法や工具の説明、放射熱による多角形ガラスの製作等を行いました。

## 5. おわりに

ガラス工作技術シンポジウムでは同じ職種の仲間が日常業務の中で生じる様々な問題、疑問が報告され、またその解決に至る経緯などもあり自らの日常業務の改善や技術・知識の向上に役立つ内容でした。また今回は、実行委員として開催準備に携わり日常業務では経験できない様々な経験をすることができ、これらの経験を今後の業務に活かして行きたいと思います。最後になりましたが、開催にあたり御協力いただきました技術センターの皆様へ深く感謝いたします。